



### 竹炭の里で流し素麺

いみず地域  
青年会ほか

【射水】

射水市のボランティアグループ「いみず地域青年会ほか」（藤田法子代表）は9日、同市青井谷（小杉）のきららかの里西谷で、竹炭の里「流し素麺」と七夕の集い」を開き、親子約30人が参加した。写真。

障がいのある人もない人も

家族ぐるみで自由に交流するファミリィ、フリーの「Fスタイル」を理念に活動。里山保全に取り組む「きららかネットワーク」（奥谷陽平代表）と「大門里山の会」（山本美喜子代表理事）の計約20人が協力し、共同募金の助成事業として企画した。

同所は同ネットが竹林を伐採し、竹炭を作る活動拠点。流し素麺のどいに加工する青竹を前日に準備し、ジャガイモを提供した。同里山の会はおにぎりや漬物を用意した。親子らは、竹炭を作る窯の説明を受け、「笑顔で元気で」などと願いを書いた短冊を竹に付けた。流れる素麺を箸で上手に取って味わった。

### 里山整備の大切さ学ぶ

いみず地域青年会ほか

ボランティアグループ「いみず地域青年会ほか」（射水市）の「竹林の里 流し素麺」と七夕の集い」は9日、同市青井谷の「きららかの里西谷」で開かれ、親子ら約30人が里山保全の魅力に触れ、和やかなひとときを過ごした。

きららかの里には竹炭窯や竹材の保管所、薫製の装置、竹細工を体験できる工房があり、市内の住民有志でつくる「きららかネットワーク」の山本匡躬副代表が施設の概要を紹介した。

引き続き、参加者は竹に「健康で暮らせますように」「ピアノが上手になりますように」などの願いを記した短冊を飾り付けた。竹製の糖を使った流しそうめんも味わい、参加者が歓談した。大門里山の会（射水市）も運営に協力した。



流しそうめんを味わう参加者―射水市青井谷の「きららかの里西谷」